

ホタルカズラ	<i>Lithospermum zollingeri</i> A.DC.	準絶滅危惧
		ムラサキ科
選定理由	分布域の一部において生育の条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(箕浦博之)
形態の特徴	茎は細く、花後基部から長く横に這う無花枝を出し、先端で根を出して新株をつくる。新枝は直立し高さ15-20cm。葉は無柄・倒披針形で互生する。花期は4-5月。枝の上部の葉腋ごとに瑠璃色で径15-18mmの5弁花をつける。分果は小さくて堅く、灰白色で光沢がある。	
生態的特徴	山野の日当りのよい乾燥地や、林中の半日陰の草地に生える。	
分布状況	北海道～九州、朝鮮、中国、アムールに分布する。県内では県南の南部。県北にも生育地がある。	
減少要因	本種の分布域は県南の南部及び県北の1地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良